

70歳以上の高齢者 市内全域バス料金 一律100円の実現を要望



呉市・三原市にできて なぜ東広島市ができないのか？

定例会一般質問〈1時間20分の質疑より抜粋〉

質問 呉市・三原市では所得制限のない「70歳以上の高齢者の市内全域バス料金、一律100円」が実現しています。外出機会を増やすことでフレイル予防に繋がったり、通院や買い物などにかかる交通費が負担軽減されています。また高齢者の運転リスクの軽減や運転免許証返納も推進できると考えます。本市と比べて財政状況がいいとは言えない隣接する両市で長年展開されている事業ですから、本市でも早急に事業計画を立てるべきではないでしょうか。

答弁 今まで一定の条件に限定した高齢者等の外出支援をしてきましたが、提案により改めて高齢者の外出支援の重要性を認識しました。外出支援施策について、「できる方法」を早急に検討し、先進自治体の取組みや課題を把握し、事業化を進めていきます。

※高齢者外出支援予算の違い 呉市約3億円・三原市約7,000万円・東広島市約2,000万円

できない理由ではなく、
できる方法を考えるのが
市の仕事ではないか。

第4回定例会一般質問



東広島市議会議員(2期目2015～)
文教厚生委員長(2021～)
〈プロフィール〉
広島県立広島国泰寺高等学校卒業
早稲田大学第一文学部卒業

県内23市町で一番の財政力、東広島。 市民サービスの向上を考えるべき！

実現に向けて
一步前進!!
市長に決断を迫る!

〈呉市と東広島市の財政力の比較 (令和3年度)〉

●財政力指数 呉市0.59 東広島市0.85

※この数字が1に近づくほど財源に余裕があり、市の裁量でより多くの事業が進められます。

令和3年度、本市は県内で1番です。

●呉市……市債(借金)1247億円・基金(貯金)173億円

東広島市……市債(借金)758億円・基金(貯金)358億円

財政に余裕のある東広島市において、市民の暮らしにかかる予算をもっと増額すべきと考えます。予算の見直しで、安心安全な暮らしを守っていかなければならないと、改めて決意しています。